



令和2年12月21日
十日町市エネルギー政策課

「使用済み紙おむつの燃料化実証施設」が完成しました

使用済み紙おむつの燃料化実証施設は、令和元年度に国から事業採択を受け施設整備を進めてきました。

この度、施設が完成したことから、次のとおり竣工式を開催します。

1 竣工式

- | | |
|---------|--------------------------------|
| (1) 日 時 | 令和2年12月23日（水） 午前10時30分から11時30分 |
| (2) 会 場 | エコクリーンセンター スtockヤード棟 |
| (3) 内 容 | 式辞、来賓祝辞、工事経過報告、スイッチ押下 |

2 施設概要

- | | |
|----------|---|
| (1) 呼 称 | 使用済み紙おむつ燃料化実証施設 |
| (2) 主な設備 | 熱回収設備、紙おむつ処理機、粉砕機、造粒機
バイオマスボイラー（三好園しんざに設置） |
| (3) 施 工 | JFEエンジニアリング株式会社 新潟支店 |

3 添付資料

- ・別紙資料

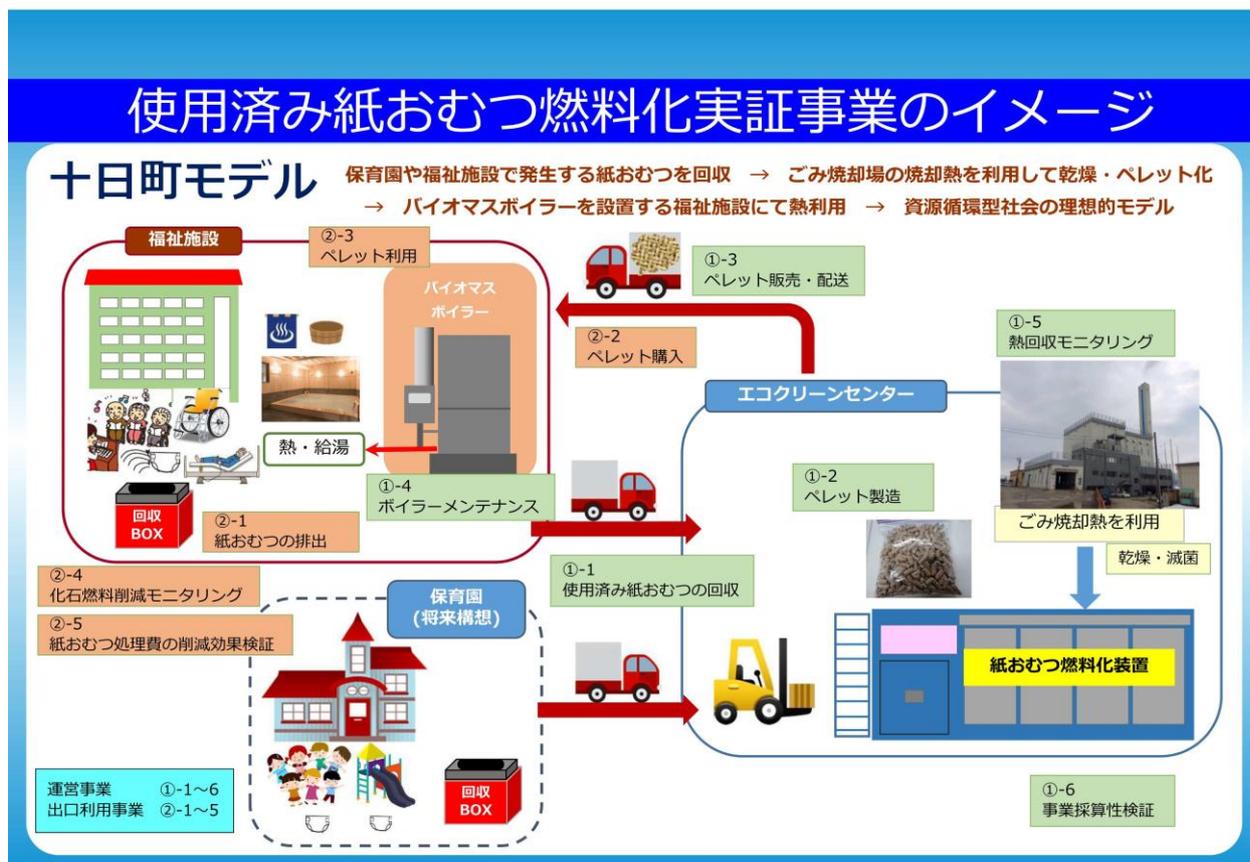
■お問合せ先

十日町市エネルギー政策課エネルギー政策係
担当：松本 ☎025-757-3198（内線392）

別紙資料

使用済み紙おむつ燃料化実証施設について

事業費	256,850千円（うち、国庫補助金 100,000千円） 経済産業省の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」を活用 令和元年度事業採択（令和2年度への繰越事業）
工事名	十エネ工第1号 十日町市使用済み紙おむつ燃料化実証施設整備工事
工事請負者	JFE エンジニアリング株式会社 新潟支店
工期	令和2年3月19日～令和2年12月21日
事業概要	



<事業のポイント>

- 紙おむつの乾燥に焼却施設の余熱を利用するのは国内初の事例。
- これまで、福祉施設などからゴミとして処分されていた使用済み紙おむつを、燃料として再び福祉施設で利用する「資源の循環利用」と「エネルギーの地産地消」のお手本となる取組み。
- 紙おむつの回収と燃料化は、令和2年4月に事業契約を締結した「社会福祉法人十日町福社会」が実施。
- 委託期間は15年、うち4年間を実証事業とし、化石燃料の消費量や紙おむつ処理費用の削減効果などを踏まえ事業の採算性を検証。

<裏面あり>

竣工式会場のご案内

会場：エコクリーンセンター スtockヤード棟（十日町市丑9 1 5 番地2）

会場案内図



駐車場は、上図「ストックヤード」隣の「臨時駐車場」にて駐車をお願いします。